

# 不起立闘争で教育労働者の 誇りと団結を取り戻そう！

6月9日「改憲阻止！倒せ安倍 倒せ御手洗！」と叫ぶ青年労働者・学生の渋谷デモ

都高教のみなさん、すべての教職員のみなさん。職場からの闘いで安倍政権を打倒して、闘う日教組を取り戻そう。今がそのチャンスの時です。資本主義にこれ以上未来があるでしょうか。あらゆる面で行き詰まっています。資本主義の枠内では、民主党が政権をとろうとも、もはや何も変わらない。社会を根底からひっくりかえそう。

## 労働者に一切責任はない

安倍政権は、今通常国会において、改憲手続き法と教育4法（教員免許、学校教育、地方教育行政、教育公務員特例法）改悪という、歴史の節目となる悪法を強行成立させました。中川秀直自民党幹事長は、「今度の教育3法で、子供たちをしっかりと教育できない先生は教員免許更新制で教壇を去ってもらうことにした」「自治労も日教組もハローワークへ」という暴言を吐いています。現場を知らず、責任を負っていない政治家や資本家が、あたかも教職員や公務員のせいで教育や社会が悪くなっているかのようにキャンペーンをし、分断を持ち込んでいる。その狙いは、組合的団結も労働者全体の団結も、破壊することにあります。

「愛国心」を教育目標にすえ「不適格教員」を排除したら教育も社会もよくなるだって？ ふざけるのもいいかげんにしろ！ 10・23通達以来、教育現場をむちゃくちゃにしてきたのはどこのどいつだ！ 多忙化で子どもと向き合う時間を奪い、上意下達で物も言えない職場にしてきたのは、小泉であり、安倍であり、石原都教委じゃないか！ こんな連中を私たちは絶対に許せません。

## 怒りを組織し団結つくらう

安倍と結びついたトヨタ、キャノンなど資本家は、大量の若者を「ワーキングプア」や「ワンコールワーカー」としてこき使い、偽装請負で史上空前のぼろ儲けをしています。介護や福祉も金儲けの道具とし（コムスン）、挙句の果てに消えた年金問題を開き直り、労働者に責任を転嫁しています。そこまでやらないと社会が成り立たなくなっているのです。

たたかう労働運動の全国ネットワークを！

**全国労働組合交流センター**

台東区元浅草2-4-10-5F TEL 03(3845)7461

E-mail centergo@nifty.com URL www.k-center.org

また、改憲をし、9条を解体し、戦争国家に作り変えなければ、国際競争に勝ち抜けないと言っている、こんな社会に未来があるはずがありません。

教育現場でみなさんが発している憤り、やりきれなさは、すべての労働者の気持ちと同じです。今や労働者が徹底的に苦しめられている。安倍や資本家は全ての労働者を敵に回したんだ。だったら私たち労働は開き直って、この怒りを組織し、団結を作り出そう。その力で安倍政権を打ち倒そう。

## 都高教執行部と民主党は最悪

都高教大会の議案書、あれはなんですか？ 教基法改悪や教育4法改悪という現場を激変させる攻撃がなされているにもかかわらず、怒りの一言もない。どこがどう悪いとも言えない。それも当然、民主党の修正案もなんら政府案と変わらないものだからです。いずれも愛国心を教育現場に持ち込み、「不適格教員」排除を肯定するものです。

「今闘っても勝てない。嵐が過ぎるまで頭を低く」？ では聞くが、嵐が過ぎるのを待って、過ぎ去った事例などあるのか？ 闘わずして労働者が勝ったことがあるか？ 24万の国労は分割・民営化に「頭を低く」した結果、4万にまで解体されたではないか。

闘ってはじめて勝ちぬけるのです。動労千葉は、「一人の首切りも許さない」という原則を貫き、ストライキで徹底的に闘い、団結を作り出しています。この団結こそが、腐りきった社会を変革する力です。「日の丸・君が代」不起立闘争の中に、その力があります。停職6ヶ月の処分を受けた根津さんとともに闘おう。

## たたかう日教組の再生を

「われわれは奴隷じゃない！」「この社会を動かしているのは労働者だ」と叫んで、青年労働者の闘いがはじまっています。不起立で闘う教育労働者が、「『日の丸・君が代』に反対と言いながら、職務命令が出たら従え、という本部を打倒し、自分が成りかわろう」と宣言しています。現場の労働者にはすごい力がある。不起立の闘いには、日教組本部の制動をはね返し、闘う日教組を再生させる力があります。

労働者の怒りを曇らせ、団結を破壊し、資本の奴隷として労働者をつなぎとめ、挙句には戦争へ導こうとしている連合・日教組本部を打ち倒そう。現場労働者の手に組合を取り戻そう。

「たたかう日教組を再生しよう！改憲・戦争への道を阻む 7・1」集会より

国鉄千葉動力車労働組合 田中康宏委員長の講演

## 日教組再生に向かって訴えます。

今、日教組に対する大変な攻撃がかけられ教育基本法も改悪され、教育関連4法が通るといふ大変な時代です。しかし逆に闘う日教組を取り戻す最高のチャンスがきている。どれだけ権利が奪われようと、労働条件がひどくろうと、「俺たちは誇りをもった労働者だ」という誇りを組織することです。それと原則を曲げないということ。それが団結を組織すると思っています。

「いじめ」問題も日教組の責任であるかのような宣伝がされている。ふざけんと言いたい。リストラだとかワーキングプアだとか、こんな社会を作ったのは一体誰なんだ！子どもが一番敏感です。子どもが子どもをいじめる、そういう状況を作ったのは資本家や政治家だろ！膨大な学校の先生たちがこんな状況の中で、切羽詰った状況におかれていると思う。政府の攻撃、教育委員会の攻撃、学校の管理の攻撃と子供たちの狭間にたつて、本当に苦しんでる。だから精神疾患や自殺に追い込まれている先生が膨大に出てくる。つまりもう生きるか死ぬかという問題になっているんじゃないか。「そうじゃない、生き抜かなきゃいけないんだ」って訴えたい。「日の丸・君が代」不起立闘争のもとに多くの教育労働者の団結をつくりだし、ここで開き直れるかどうかじゃないか。

### ◆動労千葉はなぜ国鉄分割・民営化と闘えたのか

動労千葉が国鉄分割・民営化という困難な状況のもとでストライキを決断することが出来た一番の要は、反合理化・運転保安闘争をずっとやってきたからです。国鉄労働者である以上、事故という問題を避けてとおることは出来ない。しかし、国鉄労働運動というのは戦後ずっと、事故という問題を真正面から労働運動の課題に出来なかった。せいぜい救済の対象にするか軽い処分を請願するだけでした。僕らが初めて真正面から闘いにしたんです。500人ものけが人が出た列車衝突事故があって、何波もストライキや順法闘争をやった。「これは会社の責任だ、こんな事故を起こしたくないから署名をしてくれ」そういう風に関き直る闘いをやってきたから、首かけてストライキに立ち上がろうという分割・民営化の闘いが出来た。

ストライキやって初めて世論の動きが変わった。人材活用

被爆62周年・労働者の団結で、核と戦争なくそう！

## 8・6ヒロシマ大行動

### ・8月6日

12:30～15:00 集会後デモ  
広島県総合体育館（小アリーナ）（広島市東区基町4-1）

### ・8月4日（土）

オキナフとヒロシマを結ぶ全国青年労働者交流集会 in HIROSHIMA  
18:00～ 東区文化センター（広島市東区東蟹屋町10-31）

### ・8月5日（日）

打ち破ろう！改悪教基法 とめよう！戦争・改憲  
教育労働者交流集会  
14:00～19:00 東区民文化センター（同上）



職場の廃止という攻撃に職場闘争で打ち破った動労千葉  
館山運転区庁舎への抗議行動。

センターはこんな状況だと報道されるようになった。そこから世論が割れた。僕らは、きれいに国民の支持を取り付けようなんて絶対思いません。別れなきゃいけない。そういう意味では「日の丸・君が代」不起立の闘いはそれを作り出したという点にもものすごく展望がある。この不起立の闘いを、学校の先生が苦しんでいることを、ふざけるなっていう怒りを組織することに結びつける中に闘いの展望はある。

### ◆時代が動こうとしている。

社会保険庁の問題も、教育労働者への攻撃も、全部、社会が社会として成り立つ最低限の機能が壊れているということ。これは資本主義社会の完全な末期症状です。教育労働者にこんな攻撃がかかるのだから末期症状です。

憲法改悪ってということは、世の中の仕組みがすべてひっくり返されるということ。これはもう労働者だけではなくて、支配階級の側のあり方も全部ひっくり返すということです。これと正面から闘うときに、労働者の中に誇りが無かったら闘えるはずがない。労働者っていうのは本来社会の主人公なんだ。俺たちが居なかったら教育が出来るのか、列車が走るのが、自治体のサービス業務というけど一つだって動かないじゃないか、と。

### ◆労働者の団結こそ、社会を変える力

こんな腐った社会を作り変えることが出来るのは、労働者の団結した力以外ないんです。だったらここに全力を尽くさなきゃいけないし、自民党側もそれを知っているから、攻撃の焦点を労働組合破壊に据えている。「日の丸・君が代」不起立の闘争はまだ小さな力かも知りません。だけど巨大な展望を持っている。先生が不起立で闘って世の中を揺り動かした、こんな闘争ってほかに無い。日教組のものは腐ってるかもしれないけど、現場からの闘争だから展望がある。上から方針降ろしてくれれば、なんてのには展望は無い。

国鉄分割・民営化の状況の中でストライキをするということは、組合員にクビが出ることは百も承知。なぜ、闘争に踏み切ったかという、これ以外に団結を守る道がなかったから。団結さえ守っていれば絶対に次の展望が出てくる。だから、職場で団結を組織してほしい。労働者の可能性ということは、労働者が団結したことによる可能性です。労働者が社会の主人公になるということは、団結するから社会の主人公になるということです。連合だとか全労連のようなあり方を現場から覆しちゃえ、と訴えたい。それが毎年11月に呼びかけている集会です。現場の一人一人の労働者が団結したことにこそ、力があるんだ。